

ウンカ情報第3号

平成26年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 セジロウンカ

7月下旬の本田調査（粘着板による10株の払い落とし及び捕虫網による20回すくい取り）では、発生ほ場率は35.8%（平年61.4%）と過去10年で最も低く、発生量も平年より少ない状況でした（表1）。

なお、県内各地に設置した予察灯の誘殺数は、平年よりやや少なく推移しています（表2）。

表1 セジロウンカの本田生息状況（7月下旬調査 単位：頭）

調査方法	成虫	幼虫	計
粘着板による10株の払い落とし	0.21 (0.53)	0.89 (2.23)	1.10 (2.76)
捕虫網による20回すくい取り	0.44 (1.59)	0.37 (2.35)	0.81 (3.94)

数字は県内106ほ場における調査結果の平均虫数
()内は、平年値（平成16～25年の平均）

表2 セジロウンカの予察灯における誘殺数（単位：頭）

月	半旬	長久手市	大口町	弥富市	東浦町	西尾市	豊川市
6月	第6半旬	0 (1.2)	0 (5.9)	0 (0)	- (0)	0 (4.0)	0 (0.3)
7月	第1半旬	1 (9.1)	1 (9.0)	0 (0.3)	- (0)	0 (2.8)	2 (2.2)
	第2半旬	0 (6.8)	1 (6.3)	0 (0)	1 (0.5)	2 (1.8)	1 (2.0)
	第3半旬	7 (7.9)	0 (11.6)	0 (0.1)	4 (0.5)	3 (1.7)	0 (2.9)
	第4半旬	3 (8.4)	2 (13.8)	0 (0.4)	(1.2)	0 (1.0)	0 (2.5)
	第5半旬	1 (50.0)	(22.0)	0 (0.1)	(1.2)	0 (2.7)	- (6.7)

()内は、平年値（平成16～25年の平均。東浦町については平成15～24年の平均）

2 トビイロウンカ

7月下旬までの本田調査では発生を認めていませんが、西尾市の予察灯で6月21日に1頭誘殺されています。なお、7月に入ってから誘殺はありません。

他県では、長崎県五島市の予察灯に7月6日に31頭、同県諫早市の予察灯に7月13日に18頭誘殺されています。今後の気象条件によっては、多飛来して、普通期栽培では坪枯れ等の被害が発生する可能性があります。予察灯の誘殺状況など今後の情報に注意してください。